

天然染料講座

天然染料と藍：媒染と発酵染

講師：角 寿子先生（北の藍染織工房）

黄色・赤色・茶色・灰色・藍色を染める天然染料の特徴、色素の抽出～染色液の作り方、天然繊維を媒染や発酵によって染色する方法について、「なぜ染まるのか」「堅牢で美しい色に染める方法」について解説、参加者が抽出から染色まで実習します。

※詳細については2ページ目を参照ください

【講師紹介】

1984年～北の藍染織工房主宰。2002年～特定非営利活動法人アースネットワーク理事長。2004年～天然染料顔料会議事務局長。

古代文明より続く、微生物の活性によって不溶性の藍＝インジゴ色素を水溶性に変え、染色する「藍発酵建染」の調査・研究、作品や製品を制作、藍発酵建染に関するテキストや本を制作、国内外で藍植物や染料の調査と藍建ワークショップを行っています。

- ◆日 程：① 6月25日（土）10:30～15:45
- ② 7月23日（土）10:30～15:45
- ③ 8月27日（土）10:30～15:45
- ④ 9月17日（土）10:30～15:45
- ⑤ 10月8日（土）10:30～15:45

◆定 員：5回全て受講できる方10名（単発受講不可。申込者多数の場合は抽選）

◆材 料 費：15,000円（3,000円×5回）

◆会 場：本学当別キャンパス 北方系伝統薬物研究センター
（石狩郡当別町金沢1757番地）

◆申込方法：グーグルフォームにてお申し込みください。

<https://forms.gle/DbcnZSALudgomF3F7>

申込〆切：6月10日（金）17:00

※受講者には6月14日（火）までにメールにてご連絡いたします。



◆問合せ先：北海道医療大学 学術交流推進部 地域連携課（平日 8:45～17:00 のみ対応可能です。）

☎:0133-23-1129 📠:0133-22-1835 ✉:nice@hoku-iryo-u.ac.jp

「天然染料と藍：媒染と発酵染」

黄と緑・赤と紫・茶と灰色と黒・藍色を染める

第1～5回の中で、同系統の色で色素が違う染料で繊維を染め、抽出液の色と染め色を確認する。

- ・天然染料と天然繊維（絹、毛、麻、綿）の特徴とそれぞれの相性の違い
- ・生成天然繊維の精練と下染方法
- ・繊維の先媒染、媒染染色の仕組み
- ・直接染料・媒染染料・建染染料（藍）
- ・発酵染：発酵させた染色液を維持しながら、微生物や色素の還元と酸化で染色する
- ・天然染料の色素の抽出～染色液の作り方～染め方（中媒染、後媒染）、濯ぎ、酸化、天日干し
- ・エイジング（染色後の定着時間）

第1回 色素成分が違う黄色（エンジュ、キハダ、サフラン・・・）と、藍と黄色を重ねた緑色

第2回 赤色（ニホンアカネ、ムツバアカネ等）と、藍と赤色を重ねた紫色

第3回 茶色（クルミ、栗等）、灰色（虫こぶ他）、藍に重ねた黒

第4回 藍染と発酵染の仕込みと管理（すくも藍、アカネ、ダイオウ、コガネバナ他）

第5回 藍染と発酵染の管理と染め方（すくも藍、アカネ、ダイオウ、コガネバナ他）